

## 第14回議会報告会議事録(2023年11月19日)

### 【第1部】議会報告

1	項目	医療費削減について
	質問	医療費削減において、レセプト点検結果、ミスや間違いはなかったのか。
	回答	医療機関のミスは1556件ありました、点検結果の効果金額は7,352,999円です。
2	項目	水道料金回収率について
	質問	上下水道料金において、料金回収率が103%と、100%に近い数値まで落ちているというのはどのような意味か。100%回収できていれば良いのではないか。
	回答	当該年度分と過年度からの累積分を含むため回収率は100%を超えることもある。次回からわかりやすい表記に努めます。
3	項目	特定検診受診率について
	質問	特定検診について、受診率35.6%とあったが、この母数は。
	回答	母数は13,257名、40-74歳が対象者で受診者数は4,724人です。
4	項目	特定検診について再質問
	質問	コミセンの集団検診以外の高齢者だけの受診率は、またコミセン集団検診以外に個人で受けている人、民間の病院で受けた方は35.6%に含まれるか。
	回答	国民健康保険に限るため、社会保険の方は入っていません。個人で民間病院に行かれた国民健康保険の方につきましては、把握していますので含んでいます。
5	項目	水道料金未納について
	質問	水道料金未納は、給水停止などで対応できないか。
	回答	個別に水道停止など行っているが、12月議会で債権管理条例が制定され、今後は行政側も未納回収できるよう回収率向上に向けて努力していくと聞いている。

第14回議会報告会議事録(2023年11月19日)

【第2部】意見交換会

1	項目	筑紫野市のPRについて
	質問	事前質問:自身がセールスマンだとしたら、筑紫野市をどのようにアピールするか。
	回答	議長:最大のアピールポイントは暮らしやすさだと思う。程良いまちと素晴らしい自然がありバランスの取れたまち。深い歴史も持っていて、筑紫といえば九州を差すほど。史跡も点在しており、何より温泉がある。シンボリックな観光名所である二日市温泉。そして子育てにおいても、パパになるなら筑紫野市、ママになるなら筑紫野市、家族と住むなら筑紫野市というキャッチフレーズで私としても筑紫野市をアピールしていきたい。
2	項目	筑紫野市の弱点・短所について
	質問	事前質問:筑紫野市の弱点をあげるとしたら何。各会派から意見を聞きたい。
	回答	つくし野:財政状況はとても良いが、本社がある自治体と比べると大きな法人税がないため、市民税などでまかなっている市である。ざっくりだが、自主財源160億円、交付金が160億円の約320億円がおおよその財源。それに今はコロナ給付金加わる。また、基金が180億円ある。借金は500億あったものが347億円まで減ってきており、財政状況は良好と言える。昭和30年に1町4村が合併し、昭和47年に筑紫野市へ市政施行した。昭和30年、太宰府との合併予定だったが、前日に覆った経緯がある。市政施行が遅れた原因でもある。弱みとしては、当時中学校2校、小学校5校だったが、それが今や、中学校5校、小学校11校まで増えた。合計9校、1校当たり30億円の建設費がかかるため、合計約270億円かけてきたことになる。さらにはコミセンにも大きな投資をしてきた。この新庁舎も平成30年にオープンしたが約70億円かけた。このようにずっと大きな投資がかかってきた。なお、高尾川の地下河川工事は100億円かかったが、これは全部国の負担で行えた。筑紫野市はいま端境期、計画していた大きな事業が大体終わった。この50年の節目であり、これからの50年どうしていくかが課題。特にJT跡地。市長方針として買いたい意向もあり、ここが市で扱えれば筑紫野市の今後50年の発展における起爆剤になる。もう一つ問題がある。ニュータウン構想で原田の開発が進み、このエリアの住民満足度は97~98%と非常に高い数値だが、二日市・朝倉街道周辺はまだまだ住環境整備が遅れている。最後に、国道3号線、針摺交差点が日本で一番交通事故が多い危険な交差点になってしまっており対策が急務となっている。  公明党:まずはPRポイントについて三点。 ①自然と調和した緑豊かなまち、国道が通り、JR4駅、西鉄5駅、九州自動車道のICもあり、広域交通の中核を担っている。 ②健康志向の方々には天拝山や宝満山など歴史散策を兼ねたウォーキング、トレッキング、登山ができる環境であり、天然温泉である二日市温泉もある。 ③子育て世代にとっては、おいしい給食が提供され、認可外の届け出保育所も長年大きな事故がなく評判も良い。 マイナスポイントとしては、子育てセンターの室内が他市と比べて狭く、安心して遊ばせられない点が挙げられる。また、ニュータウンで造成している所が多く、そのため坂道が多い。それもあって交通の便が悪い点も短所の一つである。
3	項目	事前質問:避けられない本市が抱えるリスクについて
	質問	政治というのは、良い話ばかりではなく、市民に耳の痛い話、苦しい決断(何かを諦める、究極の二択など)を必要とする場合があり、むしろその方が多いかも知れません。例えば、私が住む行政区の公民館は、ハザードマップ上の安全地帯にはなく、移転には相応の負担が必要と聞きました。これは、市の全体の話ではありませんが、(例)小さな行政区は統合が必要、人口の少ない地域では将来的に交通空白化は避けられない等、選挙の場ではないので、将来的に市民が決断したり、受け入れざるを得ない問題がありましたら、率直に指摘頂けないでしょうか。
	回答	過疎化が進む行政区を将来どう考えるか、のお尋ねと受け止めました。住み慣れた土地に住み続けたい願望かと思えます、それを叶え行政区として存立するには、公民館とか消防班等考えると統合は一つの手段かと思えますが、これは議会の立場で言うことはではなく、対象地区の皆さんでしっかり協議をされることが先決と思えます。交通空白地域を避けるために移動手段については行政任せではなく議会としても検討中です。

【第2部】意見交換会

4	項目	公共施設の魅力向上について
	質問	事前質問:博物館や竜岩自然の家など、市の施設には今一魅力を感じません。設備そのもの問題もありますが、運用そのものも使い勝手が悪く感じます。指定管理者制度を用いて魅力的な活用をして欲しいのですが、そもそもそのような考えはないのでしょうか。
	回答	<p>最初に二つの施設は共通して、「社会教育施設」となっています。社会教育施設とは、家庭や学校の外で、子どもから高齢者に至るまですべての年代の人が、学習や研修、スポーツや趣味を楽しむ機会を得ることが出来る生涯学習のための施設と位置付けられています。はじめに、歴史博物館、通称 ふるさと館についてですが、地域の博物館の役割として、収蔵物の収蔵、保護、調査、公開などが行われています。</p> <p>来年1月13日(土)～3月25日(日)冬の企画展「昔のくらし」が開かれますが、この企画は、筑紫野市教育委員会と連携し、小学校社会科の授業の一環として取り組まれ学習の場が提供が行われています。魅力的な運営については、アンケートでご意見をいただき参考にしているということです。</p> <p>次に、竜岩自然の家についてです。青少年が健やかに心身ともに成長していくための施設、健全育成の施設としての社会教育施設であり、現在に至っています。</p> <p>林野庁のフォレストアメニティ施設整備事業の活用や福岡県と連携し水辺整備が行われています。学習面では、自然を活用した野鳥観察会、登山教室、クライミングウォール、ボルダリングなどが行われています。</p> <p>このようなことから、歴史博物館も竜岩自然の家も、指定管理者制度の利用は考えていないということです。</p>
5	項目	議会に関すること
	質問	議決の仕方に可決と認定があるが、どのような違いがあるのか。
	回答	決算は認定、予算・議案は可決。決算については既に終わったことなので認定になり、それ以外、これからやっていくことについては可決となる。
6	項目	環境問題について
	質問	温暖化による気候変動の甚大な被害で、近未来には人間が生きていけなくなる。5～10年で40度の夏が来て、特に高齢者は長生きができなくなるのではと考えている。H26年に家庭生ごみの分離を提案させていただいた。先日の代表質問・一般質問では、新しいことをやらないという答弁がほとんどで詭弁ばかり。何故だろうか。物を燃やせば炭酸ガスが出る。生ごみを燃やせば比熱1の水を蒸発させるため莫大なエネルギーがかかる。R5年度のコース代2億円強と聞いたが、10年くらい前は7000万円くらいだったはず。これからもコース代は上がっていくはず。何故これを粗上に載せないのか、勉強会などを行い検討してみしてほしい。これに対する意見があれば聞きたい。もう一つは、回答を読むと、一般市民の理解が得られていないとあるが、アンケート調査では8割が賛成であった。つまり市民の理解がないなんてことはない。代表質問・一般質問への回答に具体性がない。もう少し突っ込んで具体性のある回答を貰ってほしい。議会だよりを見てもそれを感じる。
	回答	日本全国の自治体、SDGsを掲げて、ゼロカーボンシティにどこも取り組んでいる。先日長野県に視察に行ってきた。その学びをしっかりと活かしていきたいと考えており、議員全員で研修を行う予定としている。
7	項目	道路整備について
	質問	道路環境について。ロードバイクに乗ると道路のガタガタがよく分かる。例えば福岡市から春日市を通って筑紫野市に入ると、道路のガタガタで筑紫野市に入ったと分かるくらい違いがあるが、道路管理計画はどうなっているのか。市道にしても市制施行後50年が経ってガタがきている。例えば避難訓練で走って逃げようと言われても車椅子も押せない状況。計画的に補修・整備していく必要があると考えるが、それについてはどう考えているか。
	回答	国道・県道は国と県の管理下。市道、上下水道管の更新も含めて計画を立てている。市道については、細かい所まで一気に改修となると財政状況的にも難しいが、危険箇所を留意しながら計画的な修繕がなされているかのチェックに取り組んでいる。

【第2部】意見交換会

8	項目	コミセン運営について
	質問	コミセンは現状7つであるが、当初は11ある小学校区単位でコミセンをつくる話だったはず。今から地域コミュニティの拠点になっていくコミセンの構想をどう議会として考えているのか。
	回答	現在の7コミュニティの中で各地域既に醸成されているものがあるため、当面は現在の7つのままで運用していき、その7つをより充実させていく方針である。
9	項目	議会に関すること
	質問	女性管理職、女性議員の増加を国の施策として叫ばれているが、筑紫野市の女性議員4名。今後筑紫野市議会も女性対応が必要では？議会で何か具体策など考えていることがあれば教えてほしい。
	回答	住民が議員として活動しやすくするために、産前産後期間にも配慮した市議会会議規則の改正をしています。また様々なお考えをお持ちの女性の方々に集まっていただき、議会を知っていただく取り組みや、ハラスメント防止研修など、男女を問わず議員活動しやすい環境づくりに取り組みたいと考えています。
10	項目	緑を大切にしたい取り組みとJT跡地について
	質問	筑紫野市の今後のコンセプトとして、緑を大切にしたい筑紫野市を取り上げてほしい。JT跡地について、福岡市のようにどんどん高層ビルが建っていくのではなく、今のけやきの木が大切にされ、プレイパークのように、緑の中で子どもたちが遊べるのが第一。次に直接市民が参画できるまちづくりを、JT跡地を起点にしてつくってほしい。署名活動もあっているが、筑紫野市はまだ緑を大切にしたいまちづくりが間に合うと思っている。JT跡地を起点にして、色んな所に出かけるコースづくりや、まち全体の構成を考えていけると、楽しく希望が持てる筑紫野市になると思っている。
	回答	JT跡地について、市長からも8月に購入意向があり、議会としても調査研究会を立ち上げ、先日一回目で公拡法の勉強会を行った。市民の声を要望書でも頂いているので、それらを考慮しながら、まだ売るといふ話は正式にはJTが表明してはいないが、議会としてしっかりと意思表示ができるように進めていく。
11	項目	戸籍やマイナンバーの手続きについて
	質問	①先日戸籍謄本を取るために久留米市役所の市民課に行った、死亡届が筑紫野市から久留米市役所へオンラインで届くことになっていると思うが、来ておらず、久留米市役所から後日自宅へ郵送された。その他の手続きとして、年金手帳廃止、健康保険証廃止など筑紫野市役所で行ったが、これらを市役所で一本化しておこなえるようにならないのか。 ②筑紫野市から例えば大野城市へ引っ越しした際、大野城市に出向き手続きしなければならぬが、これはマイナンバーカードを使って簡単に行えないのか。 ③マイナンバーカードについて、来年度健康保険証廃止となるが、両親はまだ作っていない。両親を連れていかねば作れないのか、代理人でも作れるのか。
	回答	①戸籍謄本は、居住地と本籍地が違う場合、現在は本籍地の自治体まで足を運ぶ必要がありますが、改正戸籍法の施行により令和6年3月から居住地を含め全国どこの自治体でも取得できるようになる予定です。 ②マイナンバーカードで転出届けは、市役所に行かなくてもできますが、転入手続きは、転入者の実在性、本人性を厳格に確認する必要があるため、転入先の市役所に足を運んでもらう必要があります。 ③ご本人が病気、身体の障がいその他やむを得ない事情により来庁が困難な場合は、必要書類をそろえて、代理人に受け取りを委任することができます。事前に市役所市民課にご相談ください。

【第2部】意見交換会

12	項目	障がい者及び不登校児童対応について
	質問	親子の経験を踏まえた教育に関する質問。近年、身体障がい・知的障がいに加え、情緒障がい、発達障がいや不登校の増加と共に、支援学級在籍の児童も増加している。人数が多くなるほど、子どもの特性も多様化し、求められる支援も複雑になる。いかに家族と学校側が障がいにある子ども、不登校の子どもたちに理解を示すかが将来に深く関係する。ハード面、ソフト面の充実が必要となるため、先生・支援員の確保が早急の課題と考える。また、厚生労働省HPIにあるように、学習障がいがある子どもや、不登校で勉強できない子どもには個別に電子教材やICT機器を活用して、個々の能力に必要な教材を確保してほしい。Wi-Fi問題も含めて今一度しっかり考えていただき、教育へ従事していただくことを強く希望すると共に、議論していただきたいと思う。もう一つ、他市にはある支援学級の予算が筑紫野市にはないと聞いている。支援学級の予算を作してほしい。
	回答	不登校について、ICT教育推進について 12月定例会において所管事務調査を行いました。やむを得ず登校できない児童生徒のための授業のオンライン配信は、ほとんどの学校で「実施」または「準備が整っている」状況です。また、タブレットの持ち帰りは、各学校の実情に合わせて取り組んでいます。 特別支援学級の予算については、各学校の支援学級数に応じて予算が配分されており、調整しながら教材や消耗品を購入されています。
13	項目	地域公共交通について
	質問	交通政策について、第七次総合計画の素案が出ていると聞いている。地域交通の位置付けとして、三つ目の施策で書いてあるが、そんな中、国の方も10月8日に法的整備をし、補助金などについて定められた。これらを活用しながら対策を打たないと、ヒアリング・調査した時に、全ての意見を実現させようとする、莫大なお金になってしまう。これらの意見を上手くまとめていきながら、地域でどうやってバスを走らせるかを考えることが大事。それを実現しようすると、市役所の中に、交通政策を扱う担当部署を作るべきではないか。腰掛でなくそれだけを扱う専門部署を作してほしい。
	回答	市議会でも地域交通対策の全員協議会を立ち上げている。国からも計画を立てるよう指示があり、3月に上程予定としている。議員メンバーでもこれまで、コミュニティごとに議員が分かれてワークショップを行ったり、市が開いてくれた地域懇談会におけるワークショップにも議会として参加させていただいた。そこから抽出した課題をまとめており、かなり財源が必要だが、重要課題と捉えているため、今後市の計画に照らし合わせて、皆様の様々なニーズにお応えできるように検討を進めていく。

## 第14回議会報告会議事録(2023年11月19日)

### アンケート

1	質問	美しが丘北と筑紫区に森林公園をつくるという話は今後どうするのか。
	回答	文化財(前畑遺跡)が関係しているため、今後は文化庁の補助金等を活用しながら整備を進めていく。
2	質問	一般質問がなぜ1日で終わるのか(形骸化している)
	回答	ご質問のとおり、ここ数年は1日で終了していますが、会期日程として2日間予定するようしております。12月定例会は、2日間行われ質問数も増えてきております。今後も市民の為の政策提案を多くの議員が行うよう議会全体として心掛けていきたいと考えております。
3	質問	議会も具体的にアピールポイントを市民向けに出してほしいです。
	回答	ご意見をいただいたように、今後市議会ホームページ等を活用して、周知していきたいと考えています。